

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 30 年 10 月 12 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100165		
法人名	医療法人 好縁会		
事業所名	グループホームふれあい段原		
所在地	〒732-0819 広島市南区段原山崎3丁目6-1  (電話) 082-510-5588		
自己評価作成日	平成30年9月5日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490100165-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490100165-00&amp;PrefCd=34&amp;VersionCd=022</a>
-------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成30年9月28日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

医療と連携をとり、ご利用者が安心・安全かつ最後まで人としての尊厳を保ちながら生活できるよう支援をさせていただいております。ハッピーライフクリエイター制度にて、各担当がご利用者一人ひとりのプロとなり、各担当を中心にその人にとっての本当のしあわせは何なのかを皆で考え、個別性のあるその人らしい入居生活を送れるようなケアに努めております。また、ご本人ご家族の思いに寄り添い汲み取りながら、人生の最後に向けてどう過ごすかを一緒に考え、ご本人ご家族にとって少しでも満足がいく人生となるよう、また職員にとっても悔いが残ることがないように、毎日を大切に過ごしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

交通至便な街なかであり、隣接する系列の事業所と共に地域に溶け込み親密な関係性を築きながら利用者の穏やかな生活を育んでいる。母体が医療法人であり医療・看護・介護のトータルサポートのもと、共に笑い共に喜び合える暮らしの継続や、ハッピーライフクリエイター制度を取り入れ、その人らしく尊重された「しあわせ感」のある支援に取り組んでいる。事業所開催行事の充実を図り、温かい家庭的な雰囲気の中でチームとして最期まで寄り添う支援を心掛けている。常に向上心を持ちつつ地域に根差した共助の役割などを担い、職員・関係者共々ケアサービスのクオリティーアップを目指し尽力している事業所である。

自己評価	外部評価	項目(もみじ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	医療法人好縁会経営理念及び好縁会生活作り10カ条を軸に、管理者と職員はその意図とするところを共有し、実践に繋いでいる。朝礼時は経営理念と挨拶の基本用語を全員で復唱し、一日の目標を立て、サービスを提供している。	法人理念（ミッション・ビジョン・バリュー）や行動指針をコアな信条とし運営方針の細分化や目標策定などを通じ職員間の意識統一を図っている。毎朝礼時に理念及び基本挨拶用語を唱和し、申し送り時には振り返りの機会を持ち、日々のケアに活かせるよう取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に入会し寄り合いに出席している。こちらから積極的に挨拶をし、町内清掃などにも参加させていただいて、地域の方々との接点を持てるよう心掛けている。公園などの清掃活動にも積極的に行っている。施設の行事へはチラシを配布し多くの方にご参加ご協力いただいている。	町内会の集会にも参加し、盆踊りには利用者ほぼ全員が参加するなど馴染み深い関係性を紡いでいる。事業所内イベントに地域住民が気軽に参加できる雰囲気づくりを心がけ、公民館開催「いきいき百歳体操」でも地域交流を重ねている。情報発信を含め更なるコミュニティの強化を図っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の行事には積極的に参加し、ご利用者と地域が関わりをもてる機会を大切にしている。地域貢献できる機会を逃さないよう、住民の声を真摯に受け止めて反映させている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議は二ヶ月に一度行い、事業所の状況やサービスの実績を伝えている。また、ご利用者様日常の様子を写真を見ていただき、参加者との話し合いの機会を設けている。ご意見、要望は真摯に受け止め、サービスの向上に努めている。	隔月開催の当会議には、家族・地域代表者・行政関係者などの参加を得て、近況や行事報告及び意見交換がなされている。利用者の状況や職場環境の整備など、より良い運営に向けた話し合いが行われサービスの向上に活かされている。	
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議へのご案内を毎回送らせて頂いているが、参加にはいたっておりサービスをご理解していただく機会にはもてていないのが現状である。	日頃から相談・手続き・報告などで密に連携し、ケアサービスの向上に努めている。地域包括支援センター職員の運営推進会議参加はもとより、研修案内や地域情報の収集など地域活性化にも協力する積極的な姿勢がある。	

自己評価	外部評価	項目(もみじ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止委員会を設置し、意識の徹底と周知に取り組んでいる。身体拘束廃止委員会や、事業所内研修も実施している。	法人内外の研修やマニュアルを備え、身体拘束廃止委員会でケースについて再確認し適正化に向けた取り組みを強化している。日中は施錠せず玄関センサーなどを活用し、なるべく制約を加えない見守りによる寄り添うケアへの意識付けを行い、運営推進会議時などで定期的に見直し研鑽を積んでいる。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止について、研修に参加し内容を周知している。マニュアルも再確認するよう伝えている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見人制度を利用されている入居者様がおられ、権利擁護について、まず管理者及び介護支援専門員が理解するとともに個別の案件において、適切な援助ができるよう努めている。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約書や重要事項説明書に基づいて、入居者、家族に契約時きちんと説明している。変更が生じた場合も、速やかにお知らせをし、不安や疑問点がある場合についてはご理解が頂けるよう説明をしている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会を開催し、その際に運営等に関する質問や意見を伺い、返答及び意見の反映ができるよう努めている。またその内容を職員全員に周知している。	普段の面会や、家族会などで要望・意向を伺い、納得の得られる説明や対応に配慮している。貴重な意見は職員会議などで集約検討し運営やケアの改善に反映できるよう取り組んでいる。事業所開催行事の充実に向けた家族意見が反映された例がある。	

自己評価	外部評価	項目(もみじ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月に一度各フロアでミーティングを行い、業務に関する意見や改善点を話し合い、全職員で共有している。また、参加できない職員については、疑問点や意見をあらかじめ提出してもらい、ミーティングで話し合う仕組みにしている。ミーティング以外でも気づいた事があれば、その都度話し合っている。</p>	<p>月毎のフロアミーティングで課題や改善点について話し合い職員全員で共有できる仕組みで、出された意見などは運営に反映させている。ハッピーライフクリエイター制度などで常に向上心を持ち、法人内の教育システムによりステップアップを図り、モチベーションの維持に努めている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>各職員が年度目標（チャレンジシート）を作成し、目標達成に取り組んでいる。また、評価表を用いて、各職員の努力や実績を評価している。個人面談を行い進捗状況に合わせた課題を出し向上に向けたアドバイス、不安や悩みがないかなどのケアも行うよう努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>法人内に教育研修部があり、内部研修（ステップアップ研修）が頻繁に行われている。外部研修に関しても、研修費補助や勤務内研修が認められ、参加しやすい体制が整っている。新入職員には、OJT制度を活用し、統一した指導に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域の行事に参加し、他法人の施設と関わっている。他施設がイベントの声をかけてくださることもある。法人内では、グループホーム会議にて、毎月、全15事業所の管理者が顔を合わせている。各研修を通して、他事業所の職員と交流を持っている。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前に事前面談で管理者、看護師が訪問し、関係作りを開始している。可能な限りご本人の不安や思いを伺い、少しでも不安を取り除けるよう努めている。担当職員を中心に全職員で関係作りに取り組み、安心感の確保に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(もみじ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	ご家族の不安やご要望など十分に話を伺い、誠意を持って受け止め、安心してサービスを受けていただけるよう努めている。ホームでの様子を写真入りのお手紙と記録におさめ、毎月送らせて頂き信頼関係の構築に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	担当ケアマネまたは職員と協力連携をとり、他のサービス利用情報も可能な限りお知らせできるように努めている。アセスメント表を活用し、まず必要とされるサービスの見極めを行い、本人・ご家族との合意の上、支援へと繋いでいる。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	可能な限り共に過ごし、主体性のあるその人らしい時間を大切にしてくれるよう努めている。より深い共にある馴染みの関係を目指し、安全・安心の生活ができるよう努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	入居者様の体調や様子を細かくお伝えし、ご家族の不安や心配ごとを伺い、ケアの方向性を一緒に考え支援している。外出などのご協力もいただいている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	馴染みの方が来所された時には、話しやすい雰囲気を作ったり、会話の橋渡しをしている。遠方からの面会者やご要望に応じて、一緒に撮った写真を送り、喜んで頂いている。	地元からの利用者も多く、昔馴染みの面会や旧知の関係が途切れないよう生活サイクルに自然な流れで組み込み支援している。傾聴ボランティアなど定期的に訪れる関係者に恵まれ、イベントを共に楽しんだり生活の活性化につなげている。	

自己評価	外部評価	項目(もみじ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	食事の席は利用者様同士の相性や話しやすさを考えて配置し、食事以外の時間にも孤立を防ぐため、家具の配置などリビングの環境に配慮している。また、より良い人間関係作りのため、職員がコミュニケーションの間に入り意思疎通の手伝いをしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ご逝去されたご利用者のご家族が施設に来所されたりお手紙を頂いたり、またこちらからもお便りを送るなど、サービスが終了してもこれまでの関係性を保てる環境を作っている。		

### Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	各担当者が中心となって、ご本人の思いを十分に聞き出せるよう努めている。ご本人が話された内容は記録に残し、全職員が共有できるようにしている。ご本人の今までの生活習慣に近づけるよう情報を収集し、馴染みの場所への個別外出支援も行っている。	日々の生活の中で、さりげない会話やふれあいを通じて個々の思いや願いを理解し、日常生活記録などに記し職員間で共有している。それらをアセスメントにつなげ、ライフスタイルやメモリアルストーリーを大切にされた支援に活かしている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	家族からの情報提供を基に、各担当者がライフストーリーシートを、計画作成担当者が基本情報、アセスメントを作成・活用し、ほぼ把握できている。生活場面や本人とのコミュニケーションの中からの把握にも努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日常生活記録に記録している毎日の様子を全職員が把握し、心身の状況の変化があれば、明確に分かるよう連携を図っている。		

自己評価	外部評価	項目(もみじ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>アセスメントを行い、ご本人やご家族と話し合いの上、課題抽出をし、目標を見据えたケアプランを立てている。各担当がアプローチシートを考え、意見やアイデアを出し合い、検討後、計画を作成している。毎月モニタリングを行い、見直しをしている。</p>	<p>担当スタッフが日々知り得た情報などや、家族・職員・関係者の意見を加味しつつニーズに沿った介護計画を作成している。個々の「しあわせ感」を育み、テレビ体操を取り入れるなど、生き生き過ごす要素を増やせるようなプラン作りを心がけ、毎月のモニタリングで見直しを重ねている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日常生活記録を主な記録とし、心身状態の変化・プラン実施状況・生活状況・会話等を詳しく記録に残している。各担当が一人ひとりの介護手順書を作成し、それを元に新入職員にもわかりやすく、統一した介護を展開している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>既存サービス外と思われるニーズに対しても可能な限り対応している。個別外出支援をはじめ、外泊時など突発的な出来事が発生した場合や、送迎を含む柔軟なサービスを展開している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>社会福祉協議会の傾聴ボランティア「うさぎの会」に月2～3日来ていただいている。また、月に第3水曜日には他ボランティアの方に、数式や俳句を楽しませていただいている。南消防署からは消防・避難訓練を実施して頂き、指導・アドバイスを受けている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>運営母体のクリニックを主治医にしているご利用者がほとんどだが、ご本人とご家族の希望で、他の病院を主治医にしている方もいる。入院時も他院と連携をとり、双方で利用者にとってよりよい支援を検討している。</p>	<p>ほとんどの利用者が法人クリニックを主治医とし、内科・歯科の定期的な訪問診療や看護面でのサポート体制が充実する中、健康管理に努めている。緊急時対応マニュアルを備え、急変時・緊急時には迅速な対処がなされている。水分補給・服薬管理に留意し感染症予防対策に取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目(もみじ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	2週に1度の医療連携と2週に1度の訪問診療で健康管理が行われている。また24時間いつでも連絡が取れる体制になっており、訪問看護も対応して下さる。常時看護師と連携を図り、症状に合わせた適切な受診や看護を支援し、医療面での協働を保っている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には安心して入院生活を送っていただけるよう、また早期の退院に向けご本人、ご家族、医療関係者と話しあう機会をつくり連携に努めている。入院実績のある病院からもご協力頂き関係づくりは良好と思われる。救急時にもスムーズな受け入れで対応して頂いている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	終末期指針と称し、ご家族・主治医・関係者が話し合い、方針を共有し、書面にて事前確認をさせて頂いている。本人とも可能な限り早期に話し合いの場を持つようにしているが、判断決定には及んでいない。対象の方にはどのように支援していくのか、職員は状況を把握・共有し、チーム支援に取り組んでいる。	終末期における方針を説明した上で、重度化した場合その都度、家族等とよく話し合いニーズに沿った支援に取り組んでいる。納得できる方向性やチームケアの充実に向け、医療機関とのバックアップ体制を整え最期までその人らしく過ごせるケアに努めている。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	救命講習に参加、研修を受けるなどし、急変時の実践・対応へとつないでいる。緊急時の対応マニュアルを備えている。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	グループホーム内での災害時避難訓練は定期的に行われている。運営推進会議を通し、防災・災害時の対策について、地域との協力体制を築いている。消防署員からの研修も受けている。	定期的な合同防災訓練をはじめ、利用者も参加した避難訓練やスムーズな対処に取り組んでいる。正しい避難ルートを確認し早目の避難や安全確保に加え、水・簡易食・薬品のストックなど救援備品を整えている。3Fを一時避難場所として地域住民へ提供し協力関係を築いている。	近隣の系列事業所とも連携した防災対策や夜間想定での災害時対策などについて、今一度周知確認し地域との協力体制も含めた安全確保への更なる取り組みに期待します。



自己評価	外部評価	項目(もみじ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	尊厳の保持を念頭に置いた言葉かけや対応をしている。ご利用者には、敬語で丁寧な接し、自尊心を大切にしたい関わりを実践している。	利用者一人ひとりを尊重し、声掛けや接遇に留意している。時と場合に合わせて対応で礼節を重んじ、トイレ入り口に暖簾をかけるなど、自尊心やプライバシーを損ねないよう利用者の心に寄り添う支援を心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人の思いや感情を自由に表出できるような雰囲気作りを行い、コミュニケーションを図っている。その人らしい生活を支えるための知識・技術を学び、人的・物的環境の両面から自己決定ができるよう工夫を重ねている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	可能な限りその方の生活リズムやペースに添えるよう支援している。本人の思いを汲み取り、寄り添いのケアに力を入れている。起床、就寝、食事、入浴等、個別に支援し、それぞれの生活スタイルを大切にしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	月に一度訪問理美容が入っておりその方の好みの整容がされている。誕生日の理美容コースのプレゼントを検討している。マニキュアを塗っておしゃれを楽しむこともある。いつでもご家族や友人に会ったり、外出できるように気を配っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	おかずの盛り付け、配膳・下膳、食器洗いを入居者様に手伝って頂く事もある。食事時は楽しい食卓の雰囲気作りをしている。また食事の時の座位やテーブルとの距離が適切になるよう細やかに支援している。	配達された食材で栄養バランスのとれた食事提供をしている。役割分担で調理の下準備や後片付けなどを利用者と共に行い、和やかな会話を交えた食事時間となるよう工夫している。行事食や誕生日メニューなど、リクエストに答えた献立や、食べやすい形態にも配慮している。	

自己評価	外部評価	項目(もみじ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<b>○栄養摂取や水分確保の支援</b>  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食材宅配サービス業者の管理栄養士が考案したメニューの食事を作り提供している。食が進まない入居者様にはご本人様の食べたい物・飲みたい物を見つけ、提供している。水分摂取の重要性について、全職員が理解し、適切な量を摂取できるよう取り組んでいる。栄養補助食品も導入し提供している。		
42		<b>○口腔内の清潔保持</b>  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	訪問歯科より、口腔ケアに係る技術的助言や指導を受けている。それを元に、口腔ケア・マネジメントに係る計画を立て、実践している。毎食後、入居者様の状態に合わせて口腔ケアの声かけ・介助を行っている。夜間は義歯をお預かりして義歯洗浄を行っている。		
43	16	<b>○排泄の自立支援</b>  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄パターンや習慣を把握し、表情の変化にも気が付けるように配慮している。基本的なおむつを使用せず、できるだけトイレでの排泄ができるよう支援している。トイレの場所をわかりやすくする等工夫し、自立支援もしている。	なるべくトイレでの排泄を促し、各々のパターンやタイミングを見計らいトイレ誘導している。リハビリパンツや布パンツ使用の利用者がほとんどで、適切なパッド対応ほか自立に向けたケアに取り組み、廊下を歩くなど日中の活動量アップ・筋力保持にも心がけている。	
44		<b>○便秘の予防と対応</b>  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	医師、看護師と連携をはかり、便秘の予防、対応、対策を行っている。食後のトイレ誘導や水分摂取への気配り他、適度な運動を取り入れて対策している。		
45	17	<b>○入浴を楽しむことができる支援</b>  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	可能な限り、希望に添った入浴の支援に努めている。	浴槽の位置を変えたり、入浴台などの福祉用具を活用しながら、気持ちよく入浴できるよう個々に合わせた支援を行っている。職員とのコミュニケーションの場としても大切な時間と捉え、柚子などの季節の香りを湯船に浮かべ、リラックスできるよう配慮している。	

自己評価	外部評価	項目(もみじ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>入居前の生活スタイルを崩さないよう、起床時間をご本人様の要望に合わせて、日中は体調に合わせて、居室で休んでいただけるよう支援している。夜間しっかりと休んでいただくため、居室の環境整備に努めている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>職員は内服薬リスト・薬一覧表などを活用して状況をほぼ把握している。職員間での連携を密にとり、症状の変化を見逃さないようにしている。服薬管理には意識の徹底を図り、慎重な対応をしている。医療との連携は密に行われている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>習字、歌を歌うこと、編み物など、入居以前にされていた趣味や得意だったことをご本人やご家族からお聞きし、入居後も継続してできるよう支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>天気の良い日は外の花壇の花を見に行ったり、公園へお散歩に出かける支援をしている。</p>	<p>気分転換や日光浴に心がけ、散歩・花壇の手入れのため戸外に出て外気に触れる機会を設けている。回転寿司など美味しいものを食べに出かけたり、ドライブがてら四季折々の風景を眺めるなどの個別外出をはじめ、花見・もみじ狩り他の年間行事には、利用者ほぼ全員で参加し職員と共に外出を楽しんでいる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>必要に応じて買い物に行き、支払っていただくが、ご利用者の必要品は全て立替購入とさせていただいており、基本的にお金は所持していない。</p>		

自己評価	外部評価	項目(もみじ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご希望に沿って、電話をかけて頂いたり、取次ぎを行っている。手紙の返事を書くよう促したりもしている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>月ごとに職員手作りの張り紙をし季節感をだしている。カレンダーは日めくりにして日付がわかりやすいようにしている。馴染みの空間作りができるように、利用者様が使うものや家具の配置をあまり変えないようにしている。</p>	<p>毎月のオリジナルはり絵で季節を感じ取れる工夫や、ひな祭りには七段のひな飾りを設置し、カラオケや行事食を楽しむなど寛げる空間づくりに心がけている。長年飼っている猫は癒しのメンバーとしても活躍中。家庭的な過ごしやすいリビングとなっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>一人ひとりのお気に入りの場所があり、気の合う方と楽しく過ごせるよう家具の配置など工夫している。また、ご利用者の希望により家具や席の配置を変更することもある。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室内の家具や持ち物をご本人の使い慣れた馴染みの物をお持ちいただくようお願いし、なるべく以前のお住いに近い形で、安心して過ごして頂けるよう取り組んでいる。</p>	<p>ベッド・エアコンが備え付けで、使い慣れた家具やお気に入りの品々に囲まれ、家庭に居るような雰囲気づくりに努めている。個々の好みに合わせた居心地の良い落ち着いたスペースとなるよう配慮し、入口の手作りプレートにも各々工夫を凝らしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>トイレや居室に目印をつけ、わかりやすくしている。ご利用者が使うものの配置を固定し、いつでも使用して頂けるようにしている。浴室は浴槽の配置を変えることで、利用者様一人ひとりに合った入浴方法にしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	医療法人好縁会経営理念及び好縁会生活作り10カ条を軸に、管理者と職員はその意図とするところを共有し、実践に繋いでいる。朝礼時は経営理念と挨拶の基本用語を全員で復唱し、一日の目標を立て、サービスを提供している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	町内会に入会し寄り合いに出席している。こちらから積極的に挨拶をし、町内清掃などにも参加させていただいて、地域の方々との接点を持てるよう心掛けている。公園などの清掃活動にも積極的に行っている。施設の行事へはチラシを配布し多くの方にご参加ご協力いただいている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の行事には積極的に参加し、ご利用者と地域が関わりをもてる機会を大切にしている。地域貢献できる機会を逃さないよう、住民の声を真摯に受け止めて反映させている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議は二ヶ月に一度行い、事業所の状況やサービスの実績を伝えている。また、ご利用者の日常の様子を写真を見ていただき、参加者との話し合いの機会を設けている。ご意見、要望は真摯に受け止め、サービスの向上に努めている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議へのご案内を毎回送らせて頂いているが、参加にはいたっておらずサービスをご理解していただく機会ももてていないのが現状である。		

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止委員会を設置し、意識の徹底と周知に取り組んでいる。身体拘束禁止委員会や、事業所内研修も実施している。		
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	虐待防止について、研修に参加し内容を周知している。マニュアルも再確認するよう伝えている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見人制度を利用されている入居者様がおられ、権利擁護について、まず管理者及び介護支援専門員が理解するとともに個別の案件において、適切な援助ができるよう努めている。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約書や重要事項説明書に基づいて、入居者、家族に契約時きちんと説明している。変更が生じた場合も、速やかにお知らせをし、不安や疑問点がある場合についてはご理解が頂けるよう説明をしている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	家族会を開催し、その際に運営等に関する質問や意見を伺い、返答及び意見の反映ができるよう努めている。またその内容を職員全員に周知している。		

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に一度各フロアでミーティングを行い、業務に関する意見や改善点を話し合い、全職員で共有している。また、参加できない職員については、疑問点や意見をあらかじめ提出してもらい、ミーティングで話し合う仕組みにしている。ミーティング以外でも気づいた事があれば、その都度話し合っている。		
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	各職員が年度目標（チャレンジシート）を作成し、目標達成に取り組んでいる。また、評価表を用いて、各職員の努力や実績を評価している。個人面談を行い進捗状況に合わせた課題を出し向上に向けたアドバイス、不安や悩みがないかなどのケアも行うよう努めている。		
13		○職員を育てる取組み  代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	法人内に教育研修部があり、内部研修（ステップアップ研修）が頻繁に行われている。外部研修に関しても、研修費補助や勤務内研修が認められ、参加しやすい体制が整っている。新入職員には、OJT制度を活用し、統一した指導に努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上  代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域の行事に参加し、他法人の施設と関わっている。他施設がイベントの声をかけてくださることもある。法人内では、グループホーム会議にて、毎月、全15事業所の管理者が顔を合わせている。各研修を通して、他事業所の職員と交流を持っている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前に事前面談で管理者、看護師が訪問し、関係作りを開始している。可能な限りご本人の不安や思いを伺い、少しでも不安を取り除けるよう努めている。担当職員を中心に全職員で関係作りに取り組み、安心感の確保に努めている。		

自己 評価	外部 評価	項 目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくり努めている。	ご家族の不安やご要望など十分に話を伺い、誠意を持って受け止め、安心してサービスを受けていただけるよう努めている。ホームでの様子を写真入りのお手紙と記録におさめ、毎月送らせて頂き信頼関係の構築に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	担当ケアマネまたは職員と協力連携をとり、他のサービス利用情報も可能な限りお知らせできるように努めている。アセスメント表を活用し、まず必要とされるサービスの見極めを行い、本人・ご家族との合意の上、支援へと繋いでいる。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	可能な限り共に過ごし、主体性のあるその人らしい時間を大切にしているよう努めている。より深い共にある馴染みの関係を目指し、安全・安心の生活ができるよう努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	入居者様の体調や様子を細かくお伝えし、ご家族の不安や心配ごとを伺い、ケアの方向性を一緒に考え支援している。外出などのご協力もいただいている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	馴染みの方が来所された時には、話しやすい雰囲気を作ったり、会話の橋渡しをしている。遠方からの面会者やご要望に応じて、一緒に撮った写真を送り、喜んで頂いている。		



自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	食事の席は利用者様同士の相性や話しやすさを考えて配置し、食事以外の時間にも孤立を防ぐため、家具の配置などリビングの環境に配慮している。また、より良い人間関係作りのため、職員がコミュニケーションの間に入り意思疎通の手伝いをしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	ご逝去されたご利用者のご家族が施設に来所されたりお手紙を頂いたり、またこちらからもお便りを送るなど、サービスが終了してもこれまでの関係性を保てる環境を作っている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	各担当者が中心となって、ご本人の思いを十分に聞き出せるよう努めている。ご本人が話された内容は記録に残し、全職員が共有できるようにしている。ご本人の今までの生活習慣に近づけるよう情報を収集し、馴染みの場所への個別外出支援も行っている。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	家族からの情報提供を基に、各担当者がライフストーリーシートを、計画作成担当者が基本情報、アセスメントを作成・活用し、ほぼ把握できている。生活場面や本人とのコミュニケーションの中からの把握にも努めている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日常生活記録に記録している毎日の様子を全職員が把握し、心身の状況の変化があれば、明確に分かるよう連携を図っている。		

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>アセスメントを行い、ご本人やご家族と話し合いの上、課題抽出をし、目標を見据えたケアプランを立てている。各担当がアプローチシートを考え、意見やアイデアを出し合い、検討後、計画作成している。毎月モニタリングを行い、見直しをしている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日常生活記録を主な記録とし、心身状態の変化・プラン実施状況・生活状況・会話等を詳しく記録に残している。各担当が一人ひとりの介護手順書を作成し、それを元に新入職員にもわかりやすく、統一した介護を展開している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>既存サービス外と思われるニーズに対しても可能な限り対応している。個別外出支援をはじめ、外泊時など突発的な出来事が発生した場合や、送迎を含む柔軟なサービスを展開している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>社会福祉協議会の傾聴ボランティア「うさぎの会」に月2～3日来ている。また、月に第3水曜日には他ボランティアの方に、数式や俳句を楽しませていただいている。南消防所からは消防・避難訓練を実施して頂き、指導・アドバイスを受けている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>運営母体のクリニックを主治医にしているご利用者がほとんどだが、ご本人とご家族の希望で、他の病院を主治医にしている方もいる。入院時も他院と連携を取り、双方で利用者にとってよりよい支援を検討している。</p>		

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	2週に1度の医療連携と2週に1度の訪問診療で健康管理が行われている。また24時間いつでも連絡が取れる体制になっており、訪問看護も対応して下さる。常時看護師と連携を図り、症状に合わせた適切な受診や看護を支援し、医療面での協働を保っている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には安心して入院生活を送っていただけるよう、また早期の退院に向けご本人、ご家族、医療関係者と話しあう機会をつくり連携に努めている。入院実績のある病院からも協力頂き関係づくりは良好と思われる。救急時にもスムーズな受け入れで対応して頂いている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	終末期指針と称し、ご家族・主治医・関係者が話し合い、方針を共有し、書面にて事前確認をさせて頂いている。本人とも可能な限り早期に話し合いの場を持つようにしているが、判断決定には及んでいない。対象の方にはどのように支援していくのか、職員は状況を把握・共有し、チーム支援に取り組んでいる。		
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	救命講習に参加、研修を受けるなどし、急変時の実践・対応へとつないでいる。緊急時の対応マニュアルを備えている。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	グループホーム内での災害時避難訓練は定期的に行われている。運営推進会議を通し、防災・災害時の対策について、地域との協力体制を築いている。消防署員からの研修も受けている。		

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	尊厳の保持を念頭に置いた言葉かけや対応をしている。ご利用者には、敬語で丁寧に接し、自尊心を大切にしたり関わりを実践している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人の思いや感情を自由に表出できるような雰囲気作りを行い、コミュニケーションを図っている。その人らしい生活を支えるための知識・技術を学び、人的・物的環境の両面から自己決定ができるよう工夫を重ねている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	可能な限りその方の生活リズムやペースに添えるよう支援している。本人の思いを汲み取り、寄り添いのケアに力を入れている。起床、就寝、食事、入浴等、個別に支援し、それぞれの生活スタイルを大切にしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	月に一度訪問理美容が入っておりその方の好みの整容がされている。誕生日の理美容コースのプレゼントを検討している。マニキュアを塗っておしゃれを楽しむこともある。いつでもご家族や友人に会ったり、外出できるように気を配っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	おかずの盛り付け、配膳・下膳、食器洗いを入居者様に手伝って頂く事もある。食事時は楽しい食卓の雰囲気作りをしている。また食事の時の座位やテーブルとの距離が適切になるよう細やかに支援している。		

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	ヨシケイの管理栄養士が考案したメニューの食事を作り提供している。食が進まない入居者様にはご本人様の食べたい物・飲みたい物を見つけ、提供している。水分摂取の重要性について、全職員が理解し、適切な量を摂取できるよう取り組んでいる。栄養補助食品も導入し提供している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	訪問歯科より、口腔ケアに係る技術的助言や指導を受けている。それを元に、口腔ケア・マネジメントに係る計画を立て、実践している。毎食後、入居者様の状態に合わせて口腔ケアの声かけ・介助を行っている。夜間は義歯をお預かりして義歯洗浄を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄パターンや習慣を把握し、表情の変化にも気が付けるように配慮している。基本的におむつを使用せず、できるだけトイレでの排泄ができるよう支援している。トイレの場所をわかりやすくする等工夫し、自立支援も行っている。		
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	医師、看護師と連携をはかり、便秘の予防、対応、対策を行っている。食後のトイレ誘導や水分摂取への気配り他、適度な運動を取り入れて対策している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	可能な限り、希望に添った入浴の支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>入居前の生活スタイルを崩さな いよう、起床時間をご本人様の 要望に合わせて、日中は体調に 合わせて、居室で休んでいただ けるよう支援している。夜間し っかりと休んでいただくため、 居室の環境整備に努めている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>職員は内服薬リスト・薬一覧表 などを活用して状況をほぼ把握 している。職員間での連携を密 にとり、症状の変化を見逃さな いようにしている。服薬管理に は意識の徹底を図り、慎重な対 応をしている。医療との連携は 密に行われている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>習字、歌を歌うこと、編み物な ど、入居以前にされていた趣味 や得意だったことをご本人やご 家族からお聞きし、入居後も継 続してできるように支援してい る。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける ように支援している。</p>	<p>天気の良い日は外の花壇の花を 見に行ったり、公園へお散歩に 出かける支援をしている。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>必要に応じて買い物に行き、支 払っていただくが、ご利用者の 必要品は全て立替購入とさせて いただいております。基本的にお 金は所持していません。</p>		

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご希望に沿って、電話をかけて頂いたり、取次ぎを行っている。手紙の返事を書くよう促したりもしている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>月ごとに職員手作りの張り紙をし季節感をだしている。カレンダーは日めくりにして日付がわかりやすいようにしている。馴染みの空間作りができるように、利用者様が使うものや家具の配置をあまり変えないようにしている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>一人ひとりのお気に入りの場所があり、気の合う方と楽しく過ごせるよう家具の配置など工夫している。また、ご利用者の希望により家具や席の配置を変更することもある。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室内の家具や持ち物をご本人の使い慣れた馴染みの物をお持ちいただくようお願いし、なるべく以前のお住いに近い形で、安心して過ごして頂けるよう取り組んでいる。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>トイレや居室に目印をつけ、わかりやすくしている。ご利用者が使うものの配置を固定し、いつでも使用して頂けるようにしている。浴室は浴槽の配置を変えることで、利用者様一人ひとりに合った入浴方法にしている。</p>		

V アウトカム項目( もみじ ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない



64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

V アウトカム項目( さくら ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームふれあい段原

作成日 平成30年11月15日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	近隣の系列事業所とも連携した防災対策や夜間想定での災害時対策などについて、今一度周知確認し、地域との協力体制も含めた安全確保へ向けて取り組む必要がある。	<ul style="list-style-type: none"><li>・近隣の系列事業所と連携をはかり、災害時は助け合える。</li><li>・避難時等、地域の方々にもできる事をお願いし、一人でも多くの命を救う。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・近隣の系列事業所と話し合い、防災マニュアルを見直す。また、夜間想定での避難訓練を実施する。</li><li>・災害時に地域の方々の協力が得られるよう、民生委員の方と話し合う。</li></ul>	4ヶ月以内
2	4	運営推進会議には、ご家族、地域代表者、行政関係者などの参加を得ているが、型にはまりすぎず、様々な意見交換の場とし、今以上に有意義な会議となれば良い。	<ul style="list-style-type: none"><li>・様々な方が参加しやすい雰囲気を作る。</li><li>・話題や議題を考え、意見交換ができる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・施設内の職員やご利用者を含め、様々な方が参加できるよう配慮する。</li><li>・報告するばかりではなく、意見が聞けるような話題を提供する。</li></ul>	次回の運営推進会議から試みる。
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。